

てんのおひ

第 235 号

発行所
山口県周南市大字大河内
特別養護老人ホーム天王園
天王園シヨートステイ
天王園デイサービスセンター
天王園在宅介護支援センター
グループホーム天王園

『節分豆まき』

二月二日は節分の日、各部署で豆まきの行事が行なわれました。赤鬼、青鬼が現われると、利用者



さんたちは『鬼は外、福は内』の掛け声で鬼めがけて豆つぶで、強

い鬼たちもこれにはたまらんと、早々に退散していきました。会場からは『良かった、良かった』と



歓声があがっていました。また、グループホームでは皆さんで手作りの恵方巻きを作って、今年の方角（南南東）に向かい、それぞれに願いを託して無言でひとかぶりでした

グループホーム

二月二十二日、グループホームでは光市室積にある冠山公園に梅見に出掛けました。しかし、当日

はお天気に恵まれず寒さ厳しく、遊歩道を散歩しながらの見物は出来ませんでした。車窓から眺める満開の花を見て皆さん、春の予感を楽しまれました。

話題

①介助員の坂本さんが、中央廊下のエントランスに、月ごこの花を飾ってくれています。二月は菜の花の鮮やかな黄色が、廊下を歩き来する方々の目を楽しませてくれます。

②二月二十四日、利用者さんで



はお好み焼きに挑戦です。具材はイカフライ、キャベツ、竹輪、天

カス、そして小麦粉をボールに入れて混ぜ合わせます。次にホットプレートで裏表に焦げ目がつけば出来上がり。仕上げに青のり、かつお節、ソースをかけたアツアツのお好み焼きにみなさん、美味しいネと大満足でした。

シヨートステイ

花ちり紙を使って月ごと、季節ごとの飾り物を利用者さんで丸め



る、折る、切る、貼るなどの役割を決めて作っています。なかなか手間のかかる作業ですが、指先のリハビリにもなり、完成した時の喜びはひとしおのようです。

二月は、可愛いおひな様、おだいら様を作りました。



新春・お茶会

一月二十七日、大ホールで催されたお茶会に大勢の方が出席されました。琴の調べが会場を和ませ



る中、礼儀作法にこだわらないといふこともあり、終始くつろいだ



雰囲気でのお茶会になりました。まずは、上用のお饅頭に舌鼓、点て出しのお抹茶が手元に届くと茶碗を手に取り絵柄を眺めたり、香りを嗅いだりして一服。結構な



俳句・短歌

◆節分に撒きたる豆のあまりしを
歳の数だけ砕きて食べぬ

金子タツ子

◆梅の花々にかこまれ我なごむ

藤井スミエ

◆春うらら流れる水も穏やかに
桜の開花もう間近なり

瀬下幸子

◆憂きことも過去となり行く春の風

デイサービス・吉村次代

◆未だそばに亡き夫の声や春灯籠

デイサービス・吉村次代

嬉しい訪問!

お点前でした、これで寒い冬も元気で過ごせますよと、皆さんニコニコ顔でした。

一月二十日、高水しあわせ会のみなさんが、誕生会に合わせてお祝いを兼ねた演芸慰問に来られました。まずは、会長(中村美代子様)さんよりお祝いと激励のメッセージでスタート。舞台では舞踊や歌謡ショーなどに熱演でした。

また、マンガ(サザエさん)の

3月誕生日の方々

- ☆石津 久子 様 : 八十八歳
- ☆松本マツエ 様 : 九十三歳
- ☆山本エイコ 様 : 八十七歳
- ☆貞久 宏 様 : 八十四歳
- ☆石橋千鶴子 様 : 八十三歳
- ☆石田アツ子 様 : 八十二歳
- ☆藤本マチエ 様 : 九十五歳
- ☆坪井 静枝 様 : 九十七歳



皆さん
おめでとう
ございます!

テーマソングに合わせたコメディダンスに、場内からは笑いと歓声飛び交い、ファイナーは、『故郷』の歌を全員で大合唱でした。



編集後記

立春が過ぎたとはいえ、まだまだ寒暖の差が著しく体調を崩しやすいので、利用者のみなさん、職員も規則正しい生活を心掛けて健康管理に努めましょう。

四月六日は、前庭の桜を愛でながらのお花見会を予定していますので、お楽しみに!

